

あぐり情報

営農生活課

青柳 敏正



冬春の病気予防

今年も残りあと3ヶ月となり、秋冬野菜も生育しているかと思えます。近年の異常気象により、出荷計画もなかなか思い通りにいくことが難しくなっています。

これからの時期は葉菜類中心で栽培されている方が多いかと思いますが、冬場の病気予防は早めに対策をしましょう。

菌核病

キャベツ、ブロッコリー、レタスなど宿主範囲が広く多くの作物に発生し、多発生する前にしっかりと防除することが大切となります。病原菌は糸状菌、子のう菌類に分類されます。発病適温は15℃

20℃で、病原菌の活動は20℃前後のときに最も旺盛で、30℃以上の高温では休止します。しかし、5〜10℃の低温下ではゆっくりと活動します。

症状として被害植物には、はじめ白い綿状のカビ（菌糸）が生え、その後菌糸はからみ合つて菌糸塊となり、さらに成熟して黒色のネズミの糞に似た菌核となります。

耕種的防除として、菌核は土中に浅く埋もれて、春秋の候に子のう盤を形成して伝染源となります。その伝染源は前年の被害植物にできた菌核でもあることから、菌核を圃場に残さないよう被害植物の残渣処理もしっかりとおこない、圃場衛生につとめます。

薬剤防除をおこなう場合は、早めの防除を心がけ、病害が発生していない時から予防として散布するようにしましょう。

表1に菌核病に登録のある農薬を抜粋しましたので、ローテーション散布をする際の参考にご利用ください。

表1

農薬名	系統 (FRACコード)	殺菌剤の効果	キャベツ	ブロッコリー	レタス	はくさい	カリフラワー	茎ブロッコリー	非結球レタス
			○	○	○	○	○	○	○
ベンレート水和剤	F: 1	予+治	○	○	○	○	○		
トップジンM水和剤	F: 1	予+治	○	○	○	○	○		○
ロブラール水和剤	F: 2	予+治	○		○	○			
アフェットフロアブル	F: 7	予+治	○	○	○	○			○
パレード20フロアブル	F: 7	予+治	○	○	○	△			○
ファンタジスタ顆粒水和剤	F:11	予+治	○	○	○	○			○
アミスター20フロアブル	F:11	予+治	○	△	○	△			○
メジャーフロアブル	F:11	予+治	○		○	△			○
シグナムWDG	F:11/F: 7	予+治	○	○	○	○			○

○：菌核病に登録のある農薬 △：菌核病以外の病気に登録のある農薬
 ※農薬の使用には適用作物、使用時期、使用回数、使用方法を守り、正しく使いましょう
 ※ブロッコリーと茎ブロッコリーは違う作物です。適用農薬は違いますのでご注意ください



農薬適正使用について

誤認しやすい作物に適用のない農薬を使用してしまう事案が県内でも発生しており、特に作物の名称や形状が似ている作物については、適用作物を誤認して使用することが無いよう注意してください。間違いやすい作物を表に示しましたので、再度ご確認ください。

別表：農薬登録における誤認しやすい農作物の例

1	だいず	えだまめ	
2	いんげんまめ	さやいんげん	
3	キャベツ	メキャベツ	
4	ブロッコリー	茎ブロッコリー	
5	しょうが	葉しょうが	
6	しょうが	うこん	
7	たまねぎ	葉たまねぎ	
8	レタス	非結球レタス	
9	トマト	ミニトマト	
10	ピーマン	ししとう	
11	だいこん	はつかだいこん	
12	しそ	しそ（花穂）	
13	やまのいも	やまのいも（むかご）	
14	さくら	食用さくら（葉）	
15	てんさい	かえんさい	
16	メロン	漬物用メロン	
17	すいか	漬物用すいか	
18	とうもろこし（子実）	未成熟とうもろこし	ヤングコーン
19	しゅんぎく	きく	食用ぎく
20	ねぎ	わけぎ	あさつき
21	にんにく	にんにく（花茎）	葉にんにく